

目 次

沿革

1	組織の変遷	1
2	農事試験場相馬水稻試験地の創設	1
3	設立後の経過	2

試験研究のあゆみ

1	設立当初からの20年間の試験研究(昭和10年~29年)	4
2	昭和30年代の試験研究(昭和30年~39年)	5
3	昭和40年代の試験研究(昭和40年~49年)	5
4	昭和50年代の試験研究(昭和50年~60年)	6
5	昭和61年以降10年間の試験研究(昭和61年~平成7年)	7
6	近年の試験研究(平成8年~18年)	9

これまでの試験研究の成果

1	設立当初の研究成果(昭和10年~29年)	
(1)	稲作に関する試験	11
ア	水稻奨励品種決定試験(昭和10年~29年)	11
イ	水稻栽植密度に関する試験(昭和13年~15年)	11
ウ	晩植における栽植密度試験(昭和10年から5年)	11
エ	苗代肥料試験(昭和11年~15年)	11
オ	肥料配合試験(昭和10年~14年)	11
カ	追肥及び肥料分施に関する試験(昭和10年~19年)	11
キ	自給肥料の穂肥試験(昭和19年~20年)	11
ク	肥料不足対策としての技術効果に関する試験(昭和20年~23年)	11
ケ	水田除草の時期と方法に関する試験(昭和22年~23年)	12
コ	育苗法と栽培法に関する試験(昭和22年~24年)	12
サ	特殊肥料の肥効試験(昭和23年)	12
シ	水稻品種への窒素用量に関する試験(昭和24年~25年)	12
ス	水田輪作に関する試験(昭和24年~25年)	12
セ	苗代日数感応度試験(昭和25年~26年)	12
ソ	保温折衷苗代に関する試験(昭和24年~28年)	12
タ	稲に対する二・四・D殺草剤の応用試験(昭和25年~27年)	13
チ	潮塩害地対策に関する試験(昭和25年~27年)	13
ツ	海岸稲と盆地稲の生態に関する調査(昭和26年~28年)	14
テ	移植稲に対する培土効果試験(昭和26年~28年)	14
ト	施肥量に関する試験(昭和28年)	14
ナ	水稻品種の育種目標決定に関する試験(昭和28年~29年)	14
ニ	水稻品種の栽植密度試験(昭和28年~29年)	14
ヌ	海岸稲と盆地稲の生態に関する試験(昭和26年~28年)	15
ネ	水田の高度利用に関する試験(昭和24年~26年)	15
(2)	畑作に関する試験	15
ア	甘藷電熱育苗の地域別ワット数の適性調査	15
イ	大豆移植栽培における苗床日数に関する試験(昭和25年)	15
ウ	緑肥大豆の播種期試験(昭和25年)	15
エ	性状を異にする麦類の異畦栽培試験(昭和27年)	16
オ	二毛作の栽培法試験(昭和27年~28年)	16
カ	大豆の栽培様式に関する試験(昭和27年~29年)	16
キ	大豆紫斑病に関する試験(昭和29年)	16
ク	玉蜀黍の施肥法試験(昭和29年)	16
(3)	蘭草に関する試験	16
ア	適品種の選定に関する試験(昭和25年~29年)	16
イ	施肥時期と施肥量に関する試験(昭和25年~29年)	16
ウ	栽植密度に関する試験(昭和25年~29年)	16
エ	蘭草乾燥における染土に関する試験(昭和25年~29年)	16
オ	蘭草跡の水稻晩植栽培に関する試験(昭和25年~29年)	17
2	昭和30年代の研究成果(昭和30年~39年)	
(1)	稲作に関する試験	17
ア	水稻原種決定等試験(昭和30年~36年)	17
イ	水稻奨励品種決定調査(昭和30年~39年)	17

ウ	浜通りにおける早期栽培に関する試験(昭和30年~35年)	18
エ	乾田直播の播種様式に関する試験(昭和36年~37年)	19
オ	乾田直播の播種期と品種に関する試験(昭和36年~39年)	19
カ	乾田直播の除草体系に関する試験(昭和37年~38年)	19
キ	乾田直播の浸種日数及び催芽処理と発芽に関する試験(昭和37年)	19
ク	乾田直播における播種後の湛水処理が発芽に及ぼす影響(昭和38年)	19
ケ	PCPによる水田除草方式に関する試験(昭和35年)	20
コ	遮光に関する試験(昭和34年~35年)	20
サ	PCPが水稻の生育に及ぼす影響に関する試験(昭和35年~36年)	20
シ	灌漑法に関する試験(昭和32年~33年)	20
ス	胴割米防止に関する試験(昭和37年~38年)	20
セ	稲こうじ・穂いもち病同時防除試験(昭和35年)	20
ソ	穂いもち病薬剤防除試験(昭和35年)	20
タ	水田の高度利用に関する試験(昭和38年~39年)	20
チ	塩害地の稲作改良に関する試験(昭和32年~33年)	21
ツ	浜通り稲作の低収要因の解析と対策(昭和35年~38年)	21
(2)	肥料に関する試験	22
ア	青刈りライ麦・ベントナイト併用による水稻生産力向上(昭和31年)	22
イ	肥料の種類と稲生育に関する調査(昭和31年)	22
ウ	尿素の肥効増進に関する試験(昭和32年)	22
エ	海成沖積地帯における加里の肥効に関する試験(昭和33年~34年)	22
オ	塩化リン安の肥効試験(昭和34年)	22
カ	施肥法に関する試験(昭和34年)	22
キ	化成肥料の肥効比較試験(昭和34年)	22
ク	硝酸化成抑制に関する試験(昭和37年)	23
ケ	深層施肥が穂相に及ぼす影響に関する試験(昭和37年~38年)	23
コ	高度化成肥料の肥効に関する試験(昭和38年)	23
サ	低湿田における田畑輪換の還元時の肥培管理試験(昭和39年~40年)	23
シ	晩期穂肥が穂相に及ぼす影響(昭和39年)	23
(3)	畑作に関する試験	23
ア	大豆栽培法に関する試験(昭和30年)	23
イ	大豆の作季に関する試験(昭和37年)	24
ウ	ビール麦の栽培法に関する試験(昭和37年)	24
エ	ビール麦の乾燥法に関する試験(昭和)37年~38年	24
オ	麦に対する新除草剤の効果確認試験(昭和33年)	24
カ	畑作雑草調査(昭和34年)	24
3	昭和40年代の研究成果(昭和40年~49年)	
(1)	稲作に関する試験	24
ア	水稻の品種選抜に関する試験(昭和40年~49年)	24
イ	乾田直播栽培に関する試験(昭和37年~42年、昭和49年~)	25
ウ	浜通り稲作の低収要因に関する試験(昭和43年~46年)	26
エ	生わら施用による障害防止に関する試験(昭和41年~44年)	27
オ	土層改良「暗渠排水」と水管理に関する研究(昭和42年~48年)	28
カ	良質品種、良質米生産に関する試験(昭和45年~47年)	28
キ	水稻機械移植栽培技術の確立に関する試験(昭和45年~50年)	29
ク	田畑輪換利用に関する試験(昭和38年~42年)	30
ケ	水稻の病害虫に関する試験(昭和40年~49年)	31
(2)	畑作に関する試験	32
ア	畑作物の品種に関する試験(昭和40年~49年)	32
イ	水田の高度利用に関する試験(昭和40年~41年)	33
4	昭和50年代の研究成果(昭和50年~60年)	
(1)	浜通りにおける水稻の作柄概況試験(昭和50年~60年)	33
(2)	水稻の品種・系統の選抜試験(昭和50年~60年)	34
(3)	新品種および系統の栽培法に関する試験(昭和50年~60年)	35
ア	コチヒビキの栽培法に関する試験(昭和51年~53年)	35
イ	アキヒカリの栽培法に関する試験(昭和52年)	35
ウ	コシヒカリの栽培法に関する試験(昭和52年~58年)	35
エ	チヨニシキの栽培法に関する試験(昭和57年~59年)	36
オ	初星の栽培法に関する試験(昭和59年~60年)	36
カ	水稻糯品種の栽培法に関する試験(昭和50年~55年)	36
(4)	浜通り稲作総合改善試験(昭和51年~59年)	36
ア	水稻の登熟力向上に関する試験(昭和53年~55年)	36
イ	干拓地の塩害対策試験(昭和51年~52年)	36

ウ	水稻の下葉枯れの発生原因解析(昭和50年~52年)	37
エ	稲こうじ病の防除に関する試験(昭和53年~56年、58年~59年)	37
オ	コシヒカリの倒伏予測並びに対応技術確立試験(昭和54年~58年)	37
カ	異常気象対応技術実証試験(昭和56年~58年)	37
キ	稲作総合・多収実証試験(昭和50年~58年)	37
(5)	やませ気象と農作物の安定生産技術確立試験(昭和55年~59年)	38
ア	やませ常襲地帯の微気象と農作物の生育状況(昭和55年~57年)	38
イ	やませ常襲地帯における農作物安定生産技術試験(昭和57年~59年)	38
(6)	転換畑関係並びに畑作物に関する試験(昭和49年~59年)	39
ア	麦作跡の水稻移植栽培法確立試験(昭和49年~57年)	39
イ	麦間水稻直播栽培法確立試験(昭和49年~54年)	39
ウ	転換作物の栽培法に関する試験(昭和53年~56年)	40
エ	地域に適合した輪作体系確立試験(昭和53年~58年)	40
オ	極晩生大豆の多収技術確立試験(昭和56年~58年)	40
カ	大豆の不耕起栽培に関する試験(昭和57年~59年)	40
5 昭和61年以降10年間の研究成果(昭和61年~平成7年)		
(1)	稲作に関する試験(昭和61年~平成7年)	41
ア	水稻奨励品種決定調査(昭和61年~平成7年)	41
イ	水稻特性検定試験(昭和61年~平成7年)	41
(ア)	いもち病耐病性検定試験(昭和61年~平成7年)	41
(イ)	耐冷性検定試験(平成6年~7年)	41
ウ	水稻の作柄査定に関する試験(昭和60年~)	41
エ	汎用型水田の地力推移に関する試験(昭和61年~)	41
オ	有望系統・品種の栽培法に関する試験(昭和61年~)	42
(ア)	「初星」の栽培法試験(昭和60年~62年)	42
(イ)	「ひとめぼれ」の栽培法試験(平成3年~5年)	42
(ウ)	「ふくひびき」の耐肥性に関する試験(平成5年~7年)	42
カ	いわき地方の晩生品種選抜と栽培法に関する試験(昭和61年~62年)	42
キ	湛水土中直播栽培の実用化試験(昭和59年~63年)	42
ク	省力的施肥法に関する試験(昭和61年~)	43
(ア)	施肥用田植機による側条施肥技術開発試験(昭和57年~61年)	43
(イ)	緩行性肥料利用による省力施肥技術開発試験(昭和62年~平成3年)	43
ケ	小麦跡の水稻栽培法に関する試験(昭和61年~62年)	44
コ	60a区画田における水稻管理技術に関する試験(平成元年~3年)	44
サ	大区画田における高能率・低コスト米生産技術に関する試験(平成2年~)	44
(ア)	乾田直播栽培条件の解明に関する試験(平成2年~7年)	44
(イ)	乾田直播栽培における除草法の確立に関する試験	45
(2)	畑作に関する試験(昭和61年~平成7年)	45
ア	麦類の奨励品種決定調査(昭和61年~平成7年)	45
イ	麦類の有望系統・品種の栽培法に関する試験(昭和61年~平成5年)	45
(ア)	小麦「アブクマワセ」の栽培法(平成元年~4年)	45
(イ)	大麦「ハマユタカ」「シュンライ」の栽培法(平成5年)	45
ウ	大豆の奨励品種決定調査(昭和61年~平成7年)	46
エ	大豆の有望系統・品種の栽培法に関する試験(平成3年~7年)	46
(ア)	コスズの作期と粒重分布試験(平成3年~5年)	46
(イ)	大豆有望系統・品種の方形無培土に関する試験(平成6年~7年)	46
(3)	やませに関する試験(昭和61年~平成2年)	46
ア	冷湿条件下における総合的安定生産技術の開発(昭和61年~平成元年)	46
(ア)	やませ吹走地帯の気象要因解析試験(昭和61年~平成元年)	46
(イ)	海岸稲の単収向上方策に関する試験(昭和61年~平成元年)	47
(ウ)	小麦を基幹とした作付体系に関する試験(昭和62年~平成元年)	47
(エ)	小麦の安定多収栽培技術に関する試験(昭和61年~平成元年)	47
(4)	気象災害に関する試験	47
ア	冠水害に関する緊急実態調査(昭和61年)	47
イ	冷害に関する緊急実態調査(昭和63年、平成5年)	48
ウ	イネ黄化萎縮病発生に関する緊急実態調査(平成4年)	49
6 近年における研究の成果(平成8年~平成19年)		
(1)	水稻の品種育成に関する試験	49
ア	水稻品種開発事業(平成8年~平成19年)	49
イ	水稻特性検定試験(平成8年~平成19年)	49
(ア)	水稻いもち病抵抗性検定試験	49
(イ)	耐冷性検定試験	50

ウ	水稻奨励品種決定調査(平成8年~18年)	50
(2)	水稻作柄査定に関する試験(平成8年~18年)	50
(3)	浜通り稲作の総合改善試験(平成8年~18年)	50
ア	浜通りにおける有望系統・品種に関する試験(平成8年~)	50
(ア)	「まなむすめ」の栽培法(平成8年~11年)	50
(イ)	「ふくみらい」の栽培法(平成12年~15年)	51
イ	環境ストレス(冷温・多湿・少照)対応技術に関する試験(平成8年~4年)	51
(ア)	現・旧品種の出穂期における諸形質の比較検討(平成8年~9年)	51
(イ)	栽培様式の違いと登熟特性解析及び対応技術試験(平成10年~12年)	51
ウ	やませ気象下の水稻生育・被害予測モデルと冷害回避技術 (平成16年~18年)	51
エ	浜通りにおける高品質銘柄米生産技術に関する試験(平成18年)	52
(ア)	浜通り産米白粒発生機構の解明と軽減技術の確立(平成18年)	52
(イ)	浜通りコシヒカリの粒厚向上及び品質安定技術の確立(平成18年)	52
(4)	浜通りにおける乾田直播栽培に関する試験(平成8年~18年)	52
ア	乾田直播における品種の草型特性と適応性試験(平成13年~14年)	52
イ	浜通りに適した乾田直播栽培に関する試験(平成15年~16年)	52
(ア)	種子貯蔵と発芽試験(平成15年~16年)	52
(イ)	温度条件・播種時期・乾熱処理・種子来歴と発芽との関係(平成12年)	53
(ウ)	早期播種・入水が生育収量、肥料溶出に及ぼす影響(平成16年~18年)	53
(エ)	乾田直播栽培における品種適応性に関する試験(平成12年~15年)	53
(オ)	乾田直播栽培における省力的施肥技術試験(平成12年~17年)	54
(カ)	乾田直播の期待生育相及び栄養診断基準の策定(平成8年~15年)	55
(キ)	乾田直播における省力的・効率的な除草技術試験(平成10年~17年)	55
(ク)	乾田直播栽培の適地区分の作成(平成8年~12年)	56
(ケ)	大区画圃場における直播栽培技術の組立実証試験(平成8年~17年)	56
(5)	畑作に関する試験(平成8年~18年)	57
ア	麦類の奨励品種決定調査(平成8年~18年)	57
イ	麦類、大豆の作柄解析試験(平成8年~18年)	57
ウ	大豆「有望系統」高品質・安定生産技術の確立(平成18年)	58
(6)	有機農産物生産技術の確立「ふくいしま型有機栽培技術開発事業」	58
ア	水稻有機農産物の生産技術の確立(平成16年~18年)	58
(ア)	米糠を使用した雑草の制御技術	58
(イ)	油粕を肥料とした育苗床土に関する試験	58
(ウ)	レンゲ稲作での適正なレンゲすき込み量	58
イ	野菜有機農産物生産技術の確立(平成16年~18年)	58
(ア)	トマトの有機栽培技術の確立	58
a	施設トマトの品種比較	58
b	株間局所送風法によるトマト病害の抑制	59
c	ブロー送風方による大玉トマトの着果促進	59
(イ)	茎葉菜・根菜類の有機栽培技術の確立	59
(7)	浜通りにおける野菜・花き類の安定生産技術の確立(平成18年~)	59
ア	浜通りにおける県オリジナル品種の安定生産技術の確立(平成18年~)	59
イ	浜通りにおける土地利用型園芸作物生産技術の確立(平成18年~)	60
(8)	気象災害に関する試験	60
ア	冷害の実態調査(平成15年)	60
イ	高潮流入による塩害の実態調査(平成18年~19年)	60
(9)	「普及」「参考」の成果となった課題(平成8年~18年)	61
(10)	平成19年度の試験研究課題	63

資料

1	農業練習生	65
2	原種等の生産	66
3	農業総合センター組織体制	67
4	農業総合センター浜地域研究所の組織体制及び職員配置	67
5	職員及び定数の動き	68
6	農業総合センター浜地域研究所の施設・圃場等配置	70